

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会
第12回協議会 概要

- 1 日時 令和4年3月23日（水）13：30～15：00
- 2 場所 福島県建設センター 2階会議室
- 3 出席者 委員 10名、事務局 5名
中村会長、芥川一則、小野利廣、鈴木武男（代理）、皆川雅文
赤井田貴之、畠 良一、浅沼秀俊、伊藤政宏、高橋正晴（代理）
（欠席者 3名 岩城一郎、佐藤正基、猪股慶藏）
- 4 報告事項
 - (1) 第11回協議会の概要について
 - (2) 令和2年度事業報告及び決算報告について
 - (3) 第6回ふくしまME基礎コース及び必修講義について
 - (4) 第1回ふくしまME更新講習会（座学・現場）について
 - (5) 第3回ふくしまME防災コースについて
 - (6) 事業検討ワーキンググループの検討について
 - (7) 各種アンケートの結果について
- 5 議 事
 - (1) 令和4年度事業計画（案）について
 - (2) 講師の委嘱に関する規程（案）について
 - (3) 感謝状贈呈規程（案）について
 - (4) 審査委員会規則の変更（案）について
- 6 会議結果
 - (1) 報告事項(1)～(7)について、資料に基づき事務局から報告があった。
【主な意見】
 - ◇報告事項(6)の事業検討ワーキンググループの検討について
 - ① ME認定者の活躍の場について
 - ・ME育成のメリットとして、段階的にインセンティブを付与するような考え方を示してもらおうが大事。
 - ② 社会インフラのデータベース化について：
 - ・福島県オリジナルのシステムを構築し、市町村とも連携してインフラを守る必要がある。
 - ・どのデータをどんな形で残すか、また、管理者はどのデータが必要なのか、が一番の問題である。
 - ・蓄積したデータを民間でも自由に使えないと、いずれ使われなくなる。
 - ・データベースを活用することで、現場での無駄な時間や労力がなくなり、担い手不足になっても仕事の効率化が図られる。
 - ・どこが主体となって作るのがいいのか、検討する必要がある。

(2) 議事(1)～(4)については、原案どおり承認された。

【主な意見】

○議事(1)の法人化に向けた準備について

- ・法人化後は様々な事業を行うことになるが、産学官連携の人材育成は、「建設業振興プラン」に位置づけされているので、県に対して、人材育成の事業を立ち上げるための予算化を強く要望したい。